

特別職報酬等審議会【結果報告】

令和7年12月16日（火） 午後3時から午後4時20分 庁議室

委 員

小澤 素生 岡本 聰哉 大須賀 弘旭 小山 絵実（欠）
酒井 雅喜 鈴木 茂正 平野 良則 皆見 幸
(敬称略、会長及び職務代理者、以下五十音順)

議 題

1 市長挨拶

市長代理として副市長からあいさつがあった。

2 委員の紹介

各委員よりあいさつがあった。

3 会長の選出

委員の互選により、小澤素生蒲郡商工会議所会頭が会長に選出された。

4 諮問

小澤会長へ、現時点における議会の議員の適正な議員報酬額及び市長及び副市長の適正な給料額について、審議会の意見を求める諮問があった。

5 会長挨拶

小澤会長からあいさつがあった。

6 会長職務代理の指定

委員の互選により、岡本聰哉蒲郡信用金庫理事長が会長職務代理に選出された。

7 議事

(1) 会議の運営

全体審議、会議の非公開及び要点筆記会議録のホームページ公開が図られ、了承された。

(2) 資料説明

ア 事務局から特別職報酬等審議会資料に基づいて、委員、関係条例並びに県内各市の議員報酬及び特別職給料額の現状と推移などの説明があった。

イ 改定案の協議が行われた。概要は次のとおり。

(ア) 類似12団体とは、何を基準とした類似ですか。

→国勢調査をもとにした人口と、産業構造、産業別就業人口構成比などを基準値分類して、5万人から、10万人の人口規模のものです。

(イ) 平均値や順位を示されたが、他の市も今年度に改定しているとするならば、金額の平均値から順位を基準にすることは弱いのではないか。平均や順位でない基準が望ましい。

- (ウ) 市長の働き方を見ていると、安いと感じた。
- (エ) 特別職で国の指定職俸給表を基準とする場合は、1.44%、若しくは県内各市の改定率の平均1.67%にすると、根拠が明確だと思います。恣意的な数値でないほうがよい、客観性が必要と思います。
- (オ) 報酬の見直しをした平成18年度の行政改革前後の報酬、給料の推移が分かることよい。
→資料を作成します。
- (カ) 市の人口や税収などの財政状況で、平成22年から比較できると判断材料になる。
→資料を作成します。
- (キ) 市役所職員の給料改定の状況は。
→人事院勧告に基づいて改定を行っており、令和7年の人事院勧告に基づき3.4%程度ベースアップをしています。
- (ク) 業績に見合った報酬にしたらいかがでしょうか。
- (ケ) 判断基準として、国の指定職俸給表、県内各市の改定率、類似12団体の平均額、県内各市の支給平均額といろいろあるので、採用する基準は統一したほうがよい。
- (コ) 議員の方は報酬以外の手当はなにがありますか。
→政務活動費として、年間29万円の手当があります。
- (3) その他
- ・次回審議会は12月26日（金）午前9時から新館6階庁議室で開催予定。
 - ・次の審議会で答申書の取りまとめを行う予定。

以上、ご連絡します。

特別職報酬等審議会会長 小澤素生